

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社シーサポート

②事業者情報

名称：	あさか向陽園	種別：	障害者支援施設（生活介護・施設入所支援・就労継続支援B型、短期入所）
代表者氏名：	近藤敦	定員（利用人数）：	80 名
所在地：	〒 351-0016 埼玉県朝霞市青葉台1-10-60	TEL	048-466-1411

③評価実施期間

令和3年6月10日（契約日）～令和3年10月13日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

①情報発信への注力が利用者の安心につながられています

生産活動会議・日中活動検討会議・個別面談、家族会等において施設の状況等を話しており、また利用者に対して重点目標の内容を説明するなど利用者への発信に注力しています。コロナ禍において利用者が安心するよう配慮したものであり、本評価に伴う利用者聞き取り調査からもその効果を確認することができました。本事業所の姿勢から「利用者の安心とは何か、利用者の主体性の尊重とは何か」について学ぶことができます。

②利用者本位の考察による改善を実践・挑戦する姿勢が貫かれています

利用者の状況が変わる中、これまでの自立サポートから個別的ケアへの注力へと移行しており、職員の柔軟な対応・支援方法の変更がなされています。自治会の発展的解消に伴うコーナー会議の創設・作業環境の改善をはじめ様々な対応がなされており、個別支援の実践は、利用者への傾聴回数やナースコールでの呼び出し回数に表れています。継続だけを良しとせず、利用者本位の考察による改善を実践・挑戦する姿勢が全サービス・部署にて貫かれています。

③利用者尊重の実践を余暇支援、将来への考察から理解することができます

虐待防止チェックリストの実施とその分析により利用者を尊重した支援に取り組んでおり、グループワーク・事例検討・ヒヤリハットの検討等工夫によりその形骸化防止と徹底に努めています。その具体的成果を形として提示することは困難ではありますが、余暇の充実、将来への展望など利用者を尊重する各種実践から理解することができます。

◇特にコメントを要する点

毎年度重点目標を定め、具体的数値目標を明確にしたうえで、運営の改善を図っています。利用者の重度化・高齢化、施設の老朽化等対応を迫られる中で、本評価を通じて下記の目標や課題が抽出されており、現在進行形のものも含め、継続した取り組みが期待されます。

【就労支援】

- ・利用者の重度化と高齢化にあわせた作業形態・作業工程・職員の支援比率の再構築
- ・施設外就労等新たな受注開拓

【余暇支援】

- ・コロナ終息後の外出行事再開による社会参加の充実
- ・利用者の希望するサークル活動への支援

【機能向上支援】

- ・始められた動画活用等による機能訓練の法人内他事業所からの協力による発展

【職員の研鑽】

- ・ADLの低下等に対する職員のアプローチ方法・支援方法の研鑽

【環境】

- ・入浴環境の向上
- ・台風による被害、外出時の交通安全対策の考察

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

施設運営及び利用者支援に大きな変革が求められる状況の中で、利用者調査や職員調査等からの確かな助言をいただき、今までの振り返りや今後の課題について施設として改めて確認することができました。今後も利用者本位の支援に向け、継続した取り組みと更なる改善に努めていきたいと思いをします。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり